

平成 27 年 8 月 3 日
東部農林振興センター 出雲農業普及部

標 題 | 出雲市の肥育牛が上位独占 ～第1回島根県肉牛枝肉共進会～

(ダイジェスト)

7月29日に開催された本年度第1回島根県肉牛枝肉共進会は上物率89.5%、BMSNo7.9(いずれも去勢牛平均)という高いレベルの枝肉共進会となりましたが、この中にあって、出雲市から出品された去勢牛3頭が、いずれもBMSNo12で上位3枠を独占しました。

本年度の第1回島根県肉牛枝肉共進会が7月29日に開催され、県下21農場から去勢19頭、雌6頭の肥育牛が出品されました。

今回は肉質等級が5等級のもの12頭(48%)、4等級8頭(32%)で、去勢牛に限ってみると4.5率(上物率)は89.5%、枝肉形質(平均値)も次表のとおりで非常に高いレベルの枝肉共進会となりました。

区 分	枝肉重量	ロス芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo
去 勢	509Kg	61.7 cm ²	8.7 cm	2.6 cm	75.2%	7.9
雌	474	60.8	8.7	3.4	74.2	6.2

この中にあって、いずれも出雲市の藤江昭雄氏出品牛が最優秀賞、かつべ種畜牧場出品牛が優秀賞1席、伊藤誠司氏出品牛が同2席と上位を独占し(いずれも去勢牛)、更にかつべ種畜牧場出品牛はBMSNo12で且つきれいなコザシであったことが評価されBMS賞を、藤江昭雄氏出品牛はロス芯面積が99 cm²と出品牛中最大でありロス芯賞を受賞されました。

3頭の成績は次のとおりでした。

出品者	枝肉重量	ロス芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo
藤江昭雄	522.8Kg	99 cm ²	8.8 cm	1.9 cm	79.9%	12
かつべ種畜牧場	532.0	62	9.1	2.3	74.8	12
伊藤誠司	498.8	90	9.1	1.4	79.7	12

この3頭の出品牛は導入時(かつべ種畜牧場出品牛は自家産)から順調に発育し、それぞれの農場の飼育方法により、思惑どおりの肥育牛となり、自信を持って出品されたもので、併せて永年取り組んできた肥育指導の定着と選抜技術が向上したため得られた結果です。

今後も安定して上物が出荷できるよう農場と指導班が一体となって取り組んでいきたいと思ひます。



最優秀賞の藤江さんの枝肉↑
特にカブリのボリューム感とロス芯がすばらしい

上位を独占した3農場のみなさん→左からかつべ種畜牧場の片石三郎さん、藤増牧場の三登達也さん、伊藤牧場の伊藤誠司さん。

